

## 2013年第3四半期(1-9月)課税出荷数量ヘッドライン

### 1. 市場全体の概況

- ◆ ビール・発泡酒・新ジャンル市場は、マイナス(▲0.8%)。天候不順など最需要期である夏場(7-9月)のマイナスが影響した。
- ◆ ビール市場は、マイナス(▲1.7%)。
- ◆ 発泡酒市場は、マイナス(▲5.9%)。
- ◆ 新ジャンル市場は、プラス(+2.6%)。構成比は37.2%に。

### 2. キリン社概況

- ◆ ビール・発泡酒・新ジャンル計は、市場同様にマイナス(▲2.9%)。
- ◆ ビール計は、マイナス(▲3.7%)。
- ◆ 発泡酒計は、マイナス(▲6.3%)。
- ◆ 新ジャンル計は、プラス(+0.5%)。

#### 《ビール》

- ビールカテゴリはマイナス(▲3.7%)となったものの、飲食店向けの「一番搾り フロースト<生>」「一番搾り ツートン<生>」が好調に推移したことにより、ビール大樽計はプラス。

#### 《発泡酒》

- 発泡酒カテゴリはマイナス(▲6.3%)となったものの、発泡酒市場に占めるシェアは7割を超えた。

#### 《新ジャンル》

- 新ジャンルカテゴリはプラス(+0.5%)。「のどごし<生>」は、各社の新商品などの影響を受けマイナスとなったが、足元の状況は改善してきている。年末に向けては「のどごし 夢のドリーム」第5弾CMを投入してコミュニケーションを強化していく。
- 5月に発売した新商品「澄みきり」は、年間目標の約8割となる363万ケースを販売。

※ ブランド別の対前年比は販売数による。

※ ケースは大びん換算による。

以 上